

# 令和6年度

# 所 報

Annual Report 2024



独立行政法人 国立青少年教育振興機構

国立岩手山青少年交流の家

# 目 次

はじめに	1
<b>教育事業一覧及び事業実施報告</b>	
令和6年度教育事業一覧	2
テンパークボランティア養成事業	4
テンちゃんキャンプ	6
テンパーク・みんなでわくわくソロキャンプ	8
テンパーク冒険子ども食堂	10
全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」	12
テンパーク・サマーチャレンジ	15
テンパーク・アウトドアクラブ	17
おいでよ!岩手山曲り家ワークショップ	21
テンパーク・エコキャンプ	23
令和6年度記事掲載状況一覧	25
施設利用実績	26



# はじめに

## 1 所報の趣旨

この所報は、国立岩手山青少年交流の家（テンパーク）が実施している事業を広く一般に紹介するとともに、将来の参考とするため、令和6年度において、本施設で実施した教育事業とその内容、新聞等に掲載された記事（見出し等のみ）、施設利用実績等を掲載しました。

## 2 肖像権等の取扱い

本所報に掲載されている写真は、施設の広報に使用する目的で刊行物等に掲載することがある旨を、各事業の実施要項等にて参加者にあらかじめ通知しているものです。

令和7年7月

独立行政法人国立青少年教育振興機構  
国立岩手山青少年交流の家

## 令和6年度教育事業一覧

事業名	期日・場所・対象等	内容
テンパーク ボランティア養成事業	【期日】 5月18日(土)～19日(日) 【場所】 岩手山青少年交流の家 【対象】 青少年教育ボランティア活動に興味関心をもつ高校生、大学生、社会人	・ボランティア活動の知識理論 ・野外炊事 ・レクリエーション実習
テンパーク・ボランティア自主企画事業 テンちゃんキャンプ	【期日】 10月5日(土)～6日(日) 【場所】 岩手山青少年交流の家 【対象】 小学3～6年生	・法人ボランティアが企画・運営
テンパーク・ボランティア・ブラッシュアッププロジェクト	【期日】 4月～令和7年2月 【場所】 岩手山青少年交流の家 【対象】 法人ボランティア	・自主企画事業の立案 ・ボランティアスキルアップ
実践研究・特色化 防災・減災教育事業 テンパーク・みんなでわくわくソロキャンプ	【期日】 ①8月31日(土)～9月1日(日) ②9月22日(日) 【場所】 岩手山青少年交流の家 【対象】 小学3・4年生	・テント泊 ・野外炊事 ・災害時の自助・共助
課題を抱える青少年を支援する体験活動事業 テンパーク冒険子ども食堂	【期日】 10月12日(土)～13日(日) 【場所】 岩手山青少年交流の家 【対象】 子ども食堂を利用している小学4年生～中学生	・テント泊 ・調理実習 ・農作物収穫体験
全国高校生体験活動顕彰制度 「地域探究プログラム」	【期日】 8月～令和7年1月 【場所】 岩手山青少年交流の家 【対象】 県内に在籍している高校生	・オリエンテーション合宿 ・全国高校生体験活動顕彰制度 地方ステージへ参加
地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業 テンパーク・サマーチャレンジ	【期日】 7月27日(土)～30日(火) 【場所】 岩手山青少年交流の家 【対象】 小学5・6年生	・岩手山登山 ・焼走り溶岩流トレッキング、自然観察 ・野外炊事
地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業 テンパーク・アウトドアクラブ ① 春編 ② 冬編	【期日】 ①5月11日(土)、5月12日(日) ②令和7年1月18日(土)、1月19日(日) 【場所】 岩手山青少年交流の家 【対象】 ①小学3・4年生の子どもを含む家族 ②小学1～4年生の子どもを含む家族	・季節に応じた家族での自然体験 ・初心者向けアウトドア・キャンプ体験

事業名	期日・場所・対象等	内容
地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業 おいでよ！岩手山曲り家ワークショップ	<b>【期日】</b> 12月8日（日） <b>【場所】</b> 岩手山青少年交流の家 <b>【対象】</b> 小学3～6年生の親子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本専門士による読み聞かせ</li> <li>・創作活動（茅あかり）</li> <li>・昔の生活道具、玩具の見学</li> </ul>
地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業 テンパーク・エコキャンプ	<b>【期日】</b> 9月14日（土）～15日（日） <b>【場所】</b> 岩手山青少年交流の家 <b>【対象】</b> 小学3・4年生の児童を含む家族	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギー発電所の見学</li> <li>・科学実験教室</li> <li>・創作活動（地熱蒸気染）</li> </ul>

# 事業実施報告

開催日	令和6年5月18日（土）～5月19日（日）		
事業名	テニパークボランティア養成事業		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家	参加人数	37名
対象	青少年教育ボランティア活動に興味関心をもつ高校生、大学生、社会人等		
関係機関名	滝沢消防署・滝沢北出張所		

## 状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

### [事業の内容]

ボランティア活動に興味・関心をもつ高校生・大学生・社会人が、講義・演習・説明を通してボランティア活動の基本を学ぶことを目的とし、国立青少年教育振興機構のボランティア養成カリキュラムに沿った事業内容で実施した。

「ボランティア活動の意義」「青少年教育」の講師には、東北学院大学情報学部データサイエンス学科の渡邊圭氏を招聘した。事前に法人ボランティアを交えたオンラインミーティングを実施した。

「青少年教育施設の現状と運営」では、社会教育施設としての役割や独立行政法人国立青少年教育振興機構として全国の施設とのつながり等について説明した。

「ボランティア活動の技術」では、野外炊事(カレー)の演習を通して、野外活動を行うための技術・知識を学び、安全管理のポイントを意識させるようにした。

「青少年教育施設におけるボランティア活動」では、法人ボランティア制度の仕組みや当施設のボランティア育成ビジョンについて、また今後ボランティアを募集を予定している事業について説明した。プロパー職員からは、自らのボランティア経験を踏まえ、ボランティア活動について説明した。

「安全管理」では、滝沢消防署・滝沢北出張所の職員2名が救急救命法について講義し、心肺蘇生法の演習をした。

### [成果]

事業実施後の参加者アンケートでは、事業全体に関する満足度について、100%の参加者から「満足」「やや満足」の評価を得ることができた。

「救急救命法」では、滝沢消防署・滝沢北出張所の職員2名に来ていただいたことにより、2グループに分かれてAEDを使用した心肺蘇生法を反復練習することができた。参加者からは「自分が救命処置を行わなければならない場に居合わせたとき、積極的に行う必要があることを学んだ」「参加者の安全を第一に考えるうえで有意義な内容であった」との声が寄せられた。

渡邊氏の「青少年教育」では、体験活動の重要性を各種調査結果をもとに講義していただいた。コロナ禍や経済状況・保護者の経験等の社会的背景が青少年の体験活動に与えている影響から、親子での体験活動の重要性について触れ、グループワークで「親子の体験プログラム」を考える活動を行った。参加者からは「自分もコロナ禍で高校生活を過ごし、あまり体験活動をするができなかった。大学生になった今、自分自身も人と関わる体験活動を通し社会性や共に生きる力を身に付けるためたくさんボランティア活動をしたい」との声が寄せられた。

法人ボランティアに効果的に参画してもらうため、事業の趣旨説明や野外炊事の実地踏査を事前に行った。班付き活動では積極的にアドバイスをするなど参加者一人一人に寄り添いながら活動を補助する様子が見られた。また、昨年度の自主企画事業の取組紹介や法人ボランティア企画のアイスブレイクを実施したことにより、法人ボランティアとしての活動を知ってもらうことができた。法人ボランティアの事後アンケートにおいても満足度が100%となるなど、今回の事業を通して法人ボランティアの自己有用感を育むことができたと考えられる。

### [課題]

申込みの時点で入力してもらったメールアドレスに連絡通知がうまく届かない参加者（盛岡大学社会教育活動実習生）が数名いた。次年度は盛岡大学のポータルサイトも活用することとした。

募集に際し、現在の法人ボランティアのロコミによる広報が効果的であったように感じられた。次年度も法人ボランティアと協力した広報を考えたい。

## 状況写真



「講義・説明の様子」



「講義・説明の様子」



「野外炊事の様子」



「野外炊事の様子」



「救急救命法の様子」



「救急救命法の様子」

新しい仲間を探していませんか？

自然×子ども×最高の仲間=…？

ようこそ！

テンパークボランティアへ



# テンパーク ボランティア 養成事業



主催・場所

国立岩手山青少年交流の家



期日

令和6年 5月18日(土)~19日(日)

対象

青少年教育ボランティアに関心を持つ  
高校生、大学生、社会人等



↓ Scan me!



野外炊事、安全管理、  
救急救命法…  
一緒にスキルアップ  
しよう！



詳しくは裏面へ！ →

令和6年度 国立岩手山青少年交流の家教育事業

# 事業実施報告

開催日	令和6年10月5日(土)～10月6日(日)		
事業名	テンちゃんキャンプ (ボランティア自主企画事業)		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家	参加人数	47人
対象	小学校3～6年生		
関係機関名			

## 状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

### [事業の内容]

1泊2日の日程で「出会いの会 (アイスブレイク)」・「ウォークラリー」「創作」・「ナイトハイク」・「野外炊事」・「おわりの会 (振り返り)」を主なプログラムとして行った。当日までの準備 (企画立案・実地踏査) は、ボランティア・ブラッシュアップ・プロジェクトにおいて行った。

今年度は、郷土の童話作家・宮沢賢治が思い描いた理想郷「イーハトーブ」を子どもたちなりに感じてもらう (地域の自然や文化のすばらしさを感じる) ことをテーマにした。そこで、野外炊事では、郷土料理のひつつみや雑穀ご飯を作り食べる体験をした。また、ウォークラリーでは、どんぐりや栗などの木の実を拾いそれを材料として創作活動をした。ナイトハイクでは、暗闇の自然の中で岩手にまつわる話を聞いたり星空を観察する活動をした。

運営においては参加した子供たちが楽しく安全に過ごすことができるように、子供たち5～6人の各班にボランティアを3名ずつ配置するとともに、統括リーダー・全体補助がフォローできる体制とした。また、ミーティングを行うことでボランティア同士がコミュニケーションを深め、子供たちとの関わり方や活動の安全管理について互いに情報共有し、経験を重ねているボランティアから新人ボランティアにアドバイスをしながら事業を進めた。

### [成果]

・事業後の参加者アンケートでは、事業全体に関する満足度について、100%の参加者から「満足」「やや満足」の肯定的評価を得ることができた。また、ボランティアの対応についても、同様に100%の肯定的評価を得ることができ、参加者とボランティアがよい関係を築けていたことがうかがえる。

・参加者の感想では、「ひつつみや雑穀ご飯がおいしかった」「久しぶりに星を見てきれいだと思った」「栗やどんぐりがたくさん落ちていてすごいと思った」「ナイトハイクで色々な人が岩手のことを説明してくれて、初めて知ったこともあった」などの声が寄せられた。子どもたちなりにこの事業を通して、地域の自然や文化について様々なことを感じ取ったようだ。

・ボランティアにおいても、「子どもたちの様子をしっかりと観察し、配慮することの大切さを学んだ」「事故やけがを防ぐためにボランティア同士がコミュニケーションを取り合い、子どもたちから目を離さないようにすることの大切さを学んだ」「先輩ボランティアから子どもたちを自分に注目させる方法として、声のメリハリや言葉の言い換えなど様々な工夫があることを学んだ」「人見知りだと思っていた子が、活動が進むうちに自分の意見を言えるようになって安心するとともにすごくうれしく感じた」「岩手の自然のことについて子どもたちの話を聞いてあげると、表情がとても生き生きしているのを感じた」等の感想があり、子どもやボランティア同士のかかわりの中でのボランティア自身の成長や、この事業に対する達成感も感じられた。

### [課題]

・中心となっているボランティアが教育実習等のためボランティア・ブラッシュアップ・プロジェクトに参加できないことが多く、情報共有をしながらも限られたメンバーで作業を進めなければならなかった。

・当日、プログラムの進行に時間的な余裕がないように感じられた。

## 状況写真



「出会いの会」



「野外炊事」



「ナイトハイク」



「ウォークラリー」



「創作」



「おわりの会」

# デノちゃんキャンプ

～イールトープを探検しよう～

令和6年10月5日(土)～6日(日)

★ ナイトハイク



創作活動



野外炊事



主催

国立岩手山青少年交流の家

企画・運営

デノパークボランティア

会場

国立岩手山青少年交流の家

令和6年度 国立岩手山青少年交流の家教育事業



独立行政法人 国立青少年教育振興機構

国立岩手山青少年交流の家

# 事業実施報告

開催日	キャンプⅠ：令和6年8月31日（土）～9月1日（日） キャンプⅡ：令和6年9月22日（日）		
事業名	テンパーク・みんなでわくわくソロキャンプ～体験を通して防災意識を高めよう～		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家	参加人数	キャンプⅠ：27名 キャンプⅡ：25名
対象	盛岡市・滝沢市及び近隣市町在住の小学校3・4年生		
関係機関名	岩手県教育委員会及び復興防災部防災課、滝沢市防災防犯課、岩手県立青少年施設等		

## 状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

### 〔事業の内容〕

自然体験活動の中で自らの衣食住を営んだり、他者とかかわる活動をしたりすることを通して、自らのできることは自分で実行し、難しいことは互いに補いあうことの重要性に気づき、防災の基本となる「自助」「共助」の意識を育むことを目的にキャンプを実施した。併せて、令和7年度を目途に本事業のプログラムや評価方法をモデル化し、青少年教育施設や関係団体に普及するため、企画評価委員会での協議を踏まえながら、事業内容や評価方法のブラッシュアップを図った。

#### (1) キャンプⅠ（1泊2日）

- ・ソロテント設営や耐熱ポリ袋での炊飯、アイスブレイク・P A等、自助と共助を促す活動を行った。
- ・防災行動計画を立案し、キャンプⅡまでの3週間に家庭や地域で計画を実行するようにした。

#### (2) 家庭や地域での防災行動計画の実行（3週間）

- ・それぞれ自分が立てた行動計画を日常生活の中で実行した。

#### (3) キャンプⅡ（日帰り）

- ・防災行動計画の取組状況をグループ内で発表し、全体共有を図った。
- ・災害時の避難所を想定し、カセットコンロを使用した屋内防災炊飯を行った。
- ・多様性についての学びを深めるため、高齢者や妊婦、目の見えない人などのキャップハンディ体験を行い、それら個別の配慮が必要な人々を想定した避難誘導体験を実施した。

### 〔成果〕

- ・自助・共助意識、防災行動については、児童の防災行動計画とまとめの記述内容に加え、班付きボランティアや保護者の観察による評価から、充実したデータが得られ、確かな向上を見取ることができた。
- ・質問紙を用いて自助・共助意識や防災行動の得点がどの程度変化したかを捉える量的評価も継続して行っており、多角的な評価・分析方法についても実証を積み重ねることができた。
- ・自助・共助の行動を後押しする「ヘルプカード」「できるカード」の工夫、コミュニケーションワークショップの手法を生かしたアイスブレイクやP A、屋内防災炊飯のプログラム化など、普及を見据えて他施設の事業や利用団体の研修支援において取り込みやすい形にできた。
- ・ボランティアの育成について、事前研修及び当日の打合せを入念に行い、本事業の目的や子供に対しての接し方、実際の活動等の確認を行うことで、ねらいに沿った支援につなげることができた。

### 〔課題〕

今年度で最終報告書をまとめ、次年度は普及の年になる。すでに研修支援として一部プログラムの提供を始めており、県立施設の事業でも実施していただいているので、利用者からのフィードバックを受けながらさらに使いやすいプログラムを目指してブラッシュアップしていきたい。プログラムについての情報提供や出前講座など、効果的な広報活動を展開していきたい。

## 状況写真



ソロテント設営



アイスブレイク・P A



防災行動計画の作成



防災行動計画の発表会



屋内防災炊飯



キャップハンディ・避難誘導体験

テンパーク

みんなであくわく

# ソロキャンプ

体験を通して防災意識を高めよう

キャンプⅠ 2024年8月31日(土)10時~9月1日(日)14時30分

キャンプⅡ 2024年9月22日(日)9時30分~15時30分

主催・場所：国立岩手山青少年交流の家

キャンプⅠ・Ⅱを通して、  
災害時だけではなく、  
日常生活でも必要となる  
「自助」「共助」の意識を高めます。

★ソロテント・ロープ設営 ★防災炊飯  
★アドベンチャー・プログラムなど

申込締切  
2024年  
7月29日(月)  
12時まで



独立行政法人 国立青少年教育振興機構

国立岩手山青少年交流の家

# 事業実施報告

開催日	令和6年10月12日（土）～13日（日）		
事業名	テンパーク冒険子ども食堂		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家 岩手大学滝沢農場	参加人数	24人
対象	連携機関から推薦された子ども食堂を利用している小学校4～中学生		
関係機関名	認定特定非営利活動法人インクルいわて、特定非営利活動法人いなほ、矢巾町社会福祉協議会（ここかむ食堂）、もりもりおちゃわん盛岡、森の葉風工房葉っぱのうち		

## 状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

### 〔事業の内容〕

1泊2日の日程で、晴天に恵まれ計画通り1日目はネイチャーゲーム、テント設営、創作活動（マイフォーク）、野外炊事（ナポリタン）、キャンプファイヤー、お話し（講師によるストーリーテリング）、テント泊を行った。2日目は、農場での野菜と果物の収穫、収穫した物を使った野外炊事、振り返りを実施した。

### 〔成果〕

- ・5つの子ども食堂の協力をいただき、定員を超える28名の応募があり、最終24名の参加を得た。
- ・野外の共同体験を段階的に実施することで、「友達と一緒にやるのが楽しい」「もっと距離を縮めたい」などの意見が多く聞かれ、仲間と協力して活動する楽しさや達成感を味わうことができた。
- ・小4～中3までの異年齢の班にボランティアを固定して活動をした。中学生やボランティアは傾聴姿勢をとり、班の雰囲気や安心感のあるものになった。「〇〇さんのようになりたい」「次はボランティアとして参加したい」という感想もよせられ、今後の人間関係を形成する上でも大きな経験になったと考えられる。
- ・食への興味関心を高めるために、身近で簡単なメニューを美味しく食べられる工夫をした。どの食事でも全て参加者からは大好評であった。事後の振り返りでも「〇〇がおいしかったから、家でも作りたい」等の感想が多く、食への関心の高まりが伺えた。
- ・最後の野外炊事は、かまどではなくカセットコンロを使用し、誰でも知っている身近なメニューで、調理を行った。また、自分達で収穫したキャベツを「焼く・煮る・生食」と調理法を変えて食した。こうした工夫で、キャベツのおいしさに気がつき、1人でも作れるという自信がもてた様子だった。保護者からの事後のアンケートでも反応が大きく、生活能力が向上したと考えられる。

### 〔課題〕

- ・バス代の高騰で、事業費の多くがバス代の支出となった。そのため、遠方の外出は厳しく、今後も活動の拠点は岩手山青少年交流の家となる。
- ・発達障害など配慮が必要な児童生徒が参加者に多く、次回も連携スタッフやボランティアの協力は必須と考える。今回は大きなトラブルはなかったが、今後も指導体制を相談したり、活動内容を精選し、スタッフで共通理解を図りながら進めていきたい。
- ・10月中旬の屋外テント泊は毛布等を追加し寒さ対策を施しても厳しいものがあつた。来年度この時期に実施する場合は、館内泊を検討したい。

### 状況写真



「ネイチャーゲーム」



「テント設営」



「夜のお話し会」



「朝のひとこま」



「農場でりんご狩り体験」



「野外炊事」

仲間と協力して野外活動にチャレンジ!

# テンパーク 冒険子ども食堂

～とびきりのご飯を作ろう～



キャンプファイヤー&お話し会



夜はわくわくテント泊



仲間と食べるご飯は最高

## 開催日時

令和6年 10月12日(土)  
～13日(日)

集合：盛岡駅西口 12日午前8時50分  
解散：盛岡駅西口 13日午後3時頃

## 持ち物

参加費 **無料**

防寒着・雨用のカッパ  
ハンカチ・ティッシュ  
タオル・帽子  
上履き・着替え  
洗面用具(歯ブラシセット)  
汚れものを入れる袋  
長靴(収穫体験用)  
寝間着(学校の運動着)  
その他必要なもの

## 申し込み



<https://forms.office.com/r/CSAfhPiLcp>

申込締切9月13日正午です。  
ご不明な点をご連絡ください。

会場は  
こちら

国立岩手山青少年交流の家

☎ 019-688-4221

<https://iwate.niye.go.jp>

# 事業実施報告

開催日	令和6年8月27日（火）～28日（水）		
事業名	全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」 オリエンテーション合宿		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家	参加人数	27名
参加学校名等	岩手高校プログラミングコース		
関係機関名	岩手県教育委員会（後援） 岩手県障がい者スポーツ協会 岩手中央青果株式会社 岩手県立大学まちづくりサークル「えんぶらり。」 ふれあいランド岩手（展示） 岩手県立図書館（展示）		

## 状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

### 【事業の内容】

今年度も岩手高校プログラミングコース独自の宿泊行事「アイデアソン」の中で、オリエンテーション合宿のカリキュラムを実施した。今回の学校設定テーマは、岩手中央青果株式会社の提供による「パラスポーツを応援するために青果店ができることは？」である。ちょうど2024年がパラリンピック（パリ）開催年である適時性を活かせるとともに、企業活動の社会的責任とパラスポーツの現状について学べるテーマである一方で、生徒自身が自分の問題として捉えられるような工夫が求められる。そこで、テーマへの理解を深める体験活動とプログラムを提案し、「体験」と「交流」を軸としたサポートを行った結果、96.3%の生徒がプログラムに対して肯定的な回答を示した。その後、6グループすべてが探究活動の成果をまとめることができ、地方ステージに出場できた。

### 【成果】

#### ○「体験」と「交流」を軸としたプログラムを提供できたこと

生徒たちがテーマと向き合い、解決アイデアを出すには、パラスポーツを体験することが一番だと考え、岩手県障がい者スポーツ協会と連携し、「パラスポーツ体験」を提供した。卓球バレー、ボッチャ、車いすバスケットボールを体験したことで、生徒たちはパラスポーツの魅力を体感できた様子で、感想には「パラスポーツのおもしろさを体験できた」との記述が多くあった。体験後にイメージマップ・疑問文づくりを行ったことで、テーマを自分事として捉え、意欲的に取り組む姿がみられた。感想にも「パラスポーツを楽しく体験でき、テーマについて考えやすい環境だった」との記述があり、「体験」と「交流」を軸としたプログラムの提供により、生徒の学習意欲を高めることに寄与できたと解する。

#### ○生徒の実践活動につながるサポートができたこと

岩手県立大学まちづくりサークル「えんぶらり。」との交流場面を入れたことで、高校生からは「的確なアドバイスをもらった」との感想が多かった。高校生と年齢が近い「ナナメの存在」である大学生からのアドバイスに加え、今回、探究学習を研究する文科省調査官の加藤智氏（愛知淑徳大学）や機構職員が視察に訪れ、それぞれの立場から実践の重要性を助言したこともあり、生徒たちは実践を意識した発表ができた。合宿を通じて出会った団体や人との関わりを活かし、障がい者スポーツ大会のボランティアに応募したグループ等があり、実践活動につながっていた。

県内社会福祉活動の中核施設「ふれあいランド岩手」や岩手県立図書館にパラスポーツ応援アイデア展示を提案したところ、展示の許諾をいただき、合宿の成果物を広く発信する機会を提供することができた。パネルをご覧になった方から実践活動につながるアイデアをいただくこともできた。

### 【課題】

#### ●研修環境の一層の充実

今年度から宿泊室にエアコンを設置したことで寝苦しさはなくなり、研修環境が大幅に改善され、引率者からも好評であった。研修室にレンタルのスポットクーラー2基を用意し、熱中症対策を講じた。暑さが多少和らいだものの、効果は限定的であったため、研修室にも空調機器の設置が強く望まれる。

#### ●生徒の実践活動を後押しするためのサポート

岩手高校プログラミングコースのカリキュラムや取組そのものが秀逸であり、当施設の役割は学校の取組をサポートすることである。今回、合宿での多様な人々との関わりがその後の実践活動につながったことを踏まえ、大学生団体等の活動事例、当施設の出前講座（ブース出展）等を紹介することで、生徒の実践活動をさらに後押しすることができる。適宜、情報提供等を行っていきたい。

## 状況写真



パラスポーツ体験

(講座担当:岩手県障がい者スポーツ協会)



グループで発想を広げる(イメージマップ)

(講座担当:テンパークスタッフ)



県立大「えんぶらり。」の発表・交流



ポスターセッション・講評

(講評:文科省調査官 加藤氏)



記念撮影

# 事業実施報告

開催日	令和6年10月22日（火）～10月24日（木） 2泊3日		
事業名	全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」 オリエンテーション合宿		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家	参加人数	12名
参加学校名等	トライ式高等学院（広域通信制高校サポート校）		
関係機関名	岩手県教育委員会（後援） Earth Building IWATE		

## 状況報告 （事業の内容・事業の成果と課題について記載）

### 〔事業の内容〕

トライ式高等学院の「秋の林間学校」（2泊3日）の中で、オリエンテーション合宿のカリキュラムを実施した。自然体験を足がかりに環境、地域、歴史文化にふれながら、探究的な学びにつなげていくことをねらいとし、茅葺き職人の磯和亮治氏が案内役となって茅を取り巻く生態系等を実地で学ぶ「茅場さんぽ」、茅をつかった創作活動「茅ストロー」を行うことで、ファストフード店等で採用された紙ストロー（脱プラスチック製品）を想起し、持続可能な社会の在り方を考える機会を提供した。

本事業に対する参加生徒の反応は良く、事業全体に対する満足度は100%であったことに加え、地域の事物に対する興味関心が高まった旨の感想記述が多く見られたほか、講師の磯和氏（Earth Building IWATE代表）に茅利活用アイデアの提案や質問を積極的に行った生徒の姿も見られた。「現代家屋に曲り家の素材を活かす方法を考えてみたい」といった探究テーマとして十分に成立するものもあり、今回の体験プログラムがさまざまな事柄と結びつけて考える機会を提供し、生徒の探究的な学びにつなげることができたと考える。

### 〔成果〕

#### ○広域通信制高校を対象にオリエンテーション合宿を実施できたこと

昨年度、広域通信制高校でカリキュラムの一部を実施できた成果を活かし、通信制高校のニーズや特性に応じたオリエンテーション合宿を計画した。担当教員との事前打合せにおいて、人前での発表、常に発言が求められるグループ活動が難しい等が想定されることを伺い、参加生徒に対して事前の活動周知（レクチャー動画の視聴）等を行い、取組のイメージや見通しを持って参加できるように工夫したほか、体験活動重視のプログラムとし、無理のないように要所で思考を促すこととした。参加生徒が書いた感想には、「地域のことに興味をわいた」といった地域への興味関心が高まったとする記述、「友達や大人と会話をして自信がついた」等、今回の合宿をとおして実感した自身の成長を記述する感想もあった。上述のとおり、参加生徒にとって満足度の高い取組となった。学校実情の詳細な把握とプログラムの工夫により、広域通信制高校を対象に、満足度の高いオリエンテーション合宿を実施できた。

#### ○自然体験活動の楽しさと探究的な学びを両立させた取組ができたこと

今回、学校側の行事実施の大きなねらいは、野外体験活動をとおして親睦を深め、学校生活への意欲付けとすることであった。そのため、体験活動の楽しさを損なわないように配慮しながら、探究のサイクルを回せるように工夫する必要があった。体験をとおして「茅」や郷土資源の魅力を存分に体感しながら、「茅の利活用方法を考えよう」といった思考を促す問いかけ、そして、利活用アイデアの一覧共有、担当教員の指導のもとで自分の高校生活や進路と関連付けてアイデアを再考する場面も要所に入れたことで、自然体験活動の楽しさと探究的な学びを両立させた取組にすることができた。

### 〔課題〕

#### ●多様な校種の参加促進

全国的な傾向として地域探究プログラムの参加校は、公立校、全日制が多い。本当の意味で、高校生体験活動顕彰制度としていくには、私立校、定時制通信制等の高校生も参加できるように広報することが求められる。その意味で、広域通信制高校サポート校であるトライ式高等学院がオリエンテーション合宿の実施に至った意義は大きい。加えて、全国にキャンパスを展開するサポート校であり、他施設でも同様の取組が実施できるように事例を共有していきたい。

## 状況写真



茅場散策し、茅の生態系を説明  
（講師：茅葺き職人 磯和氏）



茅葺き工法や茅の利活用を学ぶ



エコな「茅ストロー」づくり



「茅コースター」づくりも体験



かまどで郷土食「南部せんべい」づくり



体験をとおして茅の利活用を考える

# 事業実施報告

開催日	令和7年1月26日(日)		
事業名	全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」 地方ステージ		
開催場所	東北工業大学 八木山キャンパス	参加人数	28名
参加学校名等	岩手高等学校プログラミングコース 福島県立光南高等学校		
関係機関名	(後援) 岩手県教育委員会 福島県教育委員会 宮城県教育委員会 東北工業大学		

## 状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

### 〔事業の内容〕

東北各施設でオリエンテーション合宿(以下OR合宿)を修了し、実践活動を行った高校生のうち、書類審査の結果、グループ部門7組、個人部門1名が地方ステージに出場した。探究の成果を発表するとともに県外高校生と交流を通して親睦を深め、互いの取組について意見を交わした。今年度の東北ブロック地方ステージは、東北工業大学(宮城県仙台市)を会場に、東北ブロックでは初めての外部会場での開催となった。大学がもつ充実した学習環境の中で、高校生が伸び伸びと発表を行うとともに、高校生同士が意見交流することをとおして、新たな気付きと学びを得る機会を提供できた。

### 〔成果〕

#### ○大学がもつ充実した学習環境のもとで開催できたこと

今回、東北各施設の間地点として仙台駅近郊の東北工業大学を会場に地方ステージを1日開催としたことで、参加者の負担軽減を図りつつ、大学がもつ充実した学習環境を体感する機会を提供できた。引率教員からは「会場が大学というのも生徒にとってよい経験になった」との感想が寄せられた。会場の東北工業大学からは後援ならびに発表の場をご提供いただいたほか、大学公式ウェブページでも地方ステージ観覧の案内をしていただいたことで、一般観覧を希望する問合せがあり、本事業について広く周知することにもつながった。

#### ○高校生同士が意見交流する場を提供できたこと

実践活動の発表だけでなく、評価委員からの質問意見に先立って、高校生同士が質問や意見を考え、質疑応答ができるように、コミュニケーションゲーム(早口言葉でボイストレーニング)を行ってアイスブレイクを図ったり、「いいねカード」を用意し、そのカードに感想を記入したりする仕組みを取り入れた。このことにより、緊張がほぐれ、どの発表でも高校生が発言することができた。さらに、発表後にふりかえりの場として交流場面を設けたことで、参加した高校生全員が互いの発表に対する感想を述べたり自分の高校を紹介したりすることができていた。高校生の感想には、「自分自身の成長を感じた」、「意見交換で自分が考えていなかったような意見を聞いた」といった学びを実感する記述が多くあったほか、「発表に関しての意見交換も充実したものだ」、「こういうプログラムがあるのは高校生にとってありがたい」といった本事業の有用性を記したのもあった。

### 〔課題〕

#### ●地方ステージのエントリー条件の緩和

東北ブロック地方ステージと冠した事業にもかかわらず、参加校数が2県2校にとどまる状況にあり、とりわけ個人部門は1名のみ発表に留まった。事業に対する満足度は100%であったものの、「とても良い事業だが、参加校が少ないのがとても残念」(引率者)との声もあった。例えば、地方ステージのエントリー要件であるOR合宿修了に関わらず、実践活動があればエントリー可能とする「オープンエントリー」制を導入する等、エントリー条件を緩和することで、多くの高校生が参加できるようにしてはどうか。

#### ●外部会場での開催にあたっての入念な準備とバックアップ

初めての外部会場での開催となったため、事前下見や打合せを行ったほか、豪雪等により参加者の会場入りが困難な場合を想定し、バックアップ用のオンライン会議ツールの開設も準備した。今後も同様の対策は必要と思われる。また、参加校だけでなく、本部派遣の評価委員にも本件を共有し、交通機関不通の場合に備える。

## 状況写真



会場の東北工業大学



探究の成果を発表



賞状授与



高校生同士の質疑応答



評価委員からの助言・講評



記念撮影(参加者全員)

# 事業実施報告

開催日	令和6年7月27日（土）～30日（火）		
事業名	テンパーク・サマーチャレンジ		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家	参加人数	14人
対象	小学校5・6年生の児童		
関係機関名	一般社団法人岩手県山岳・スポーツライミング協会、一般社団法人八幡平市観光協会		

## 状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

### 〔事業の内容〕

3泊4日の日程で、1日目はアイスブレイク、郷土料理（ひつつみ汁）の野外炊飯等を行った。2日目以降は天候不順のため当初予定を変更し、雨天順延プログラムで実施した。

- ・ 2日目の変更：焼走り熔岩流のトレッキングを網張ビジターセンターの見学へ変更
- ・ 3日目の変更：岩手山登山を屋内での大運動会、野外炊飯、野外オリエンテーリングへ変更
- ・ 4日目の変更：お別れ会と閉会行事を岩手山登山へ変更

### 〔成果〕

#### (1) 事業後のアンケート結果

- ・ 「この後の生活でもいろいろなことに挑戦してみたいという気持ちが高まったか。」という問いに対し、「強くなった」、「少し強くなった」と回答した割合が92.8%だった。
- ・ 事業全体に満足度について、参加者の92.8%が「満足」と回答した。
- ・ 事後アンケートで「いろいろなことに挑戦できた」や「協力してチャレンジできた」、「みんなの意見を聞くことも大事だと思った」などの回答があり、事業全体を通しての目標を参加者全員で考えさせたことや登山のグループ編成を自分たちで決めさせたことで、自らの行動の適切な振り返りや主体的な活動を引き出すことができた。また、様々な協力する活動を通して参加者同士の仲を深め、絆を強めることができた。

#### (2) 事業運営について

- ・ 登山指導員や職員、ボランティアの人員配置や途中下山を含む様々な事態への対応など、安全管理体制の基本型を構築することができた。
- ・ 荒天等による登山延期に対応する雨天プログラムを整えることができた。

### 〔課題〕

#### (1) 活動日程について

- ・ 事後アンケートで「内容はとてもよかったが、もう少し時間に余裕をもってほしい」との回答があり、雨天プログラムについて時間の見通しが不十分だった。時間設定や配分について改善が必要である。

#### (2) 登山の安全管理について

- ・ 学生ボランティアに登山初心者がいた。登山時のボランティアの募集・選考について配慮が必要である。

## 状況写真



「アドベンチャー・プログラム」



「郷土料理『ひつつみ』づくり」



「網張ビジターセンターで岩手山の学習」



「雨天プログラム『大運動会』」



「雨天プログラム『オリエンテーリング』」



「岩手山登山 大成功！」

テンパーク

# サマ・チャレンジ

～岩手山・真夏の冒険～

2024 7.27(土)～7.30(火)

申込締切:7月6日(土)正午

あつまれ、わんぱく少年・少女

- 主な活動 ● 岩手山登山
- 野外炊飯
- アドベンチャー・プログラム

場所:国立岩手山青少年交流の家 主催:国立岩手山青少年交流の家(企画・運営:みちのく「体験の風を起そう」運動実行委員会)



独立行政法人 国立青少年教育振興機構  
国立岩手山青少年交流の家

# 事業実施報告

開催日	令和6年5月11日(土)、12日(日)		
事業名	テンパーク・アウトドアクラブ～春編～		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家	参加人数	11日 27家族87名 12日 30家族86名
対象	小学校3、4年生の子どもを含む家族		
関係機関名	岩手県キャンプ協会、ガールスカウト岩手県連盟、スポーツキャンプCOZY、滝沢里山研究会		

## 状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

### 〔事業の内容〕

本事業は、キャンプに挑戦したい親子に体験の機会を提供するとともに、キャンプに関する初歩的な技術・知識を身に付けてもらうことを目的として、午後開始の日帰り事業を同内容で2日間開催した。

事業内容は2部制となっており、第一部では5つのプログラムを参加者が自由に体験できる「キャンパー体験会」を行った。実施したプログラムは次の通り。①ビギナーズキャンパースクール：岩手県キャンプ協会を講師に招き、テント設営の技術について解説を交えながらの実演を見学した後、5種類のロープワークを体験した。②スラックライン体験：スラックライン体験に加えて、スポーツキャンプCOZYのインストラクターによるセーフティワークを含めたデモンストレーションも実施した。③創作活動：ガールスカウト岩手県連盟の協力のもと、自宅でも焚き火気分を味わえる「焚き火キャンドル」を創作し、実際に火をつけて暗所で鑑賞した。④キャンプギア体験会：テンパークで貸出し可能なキャンプギアの紹介を行った。テント、タープ等の設営体験や、滝沢里山研究会の協力のもと、薪割体験も実施した。⑤テンパーク探検隊！：活動プログラム「テンパーク・スタンプラリー」を実施した。

第二部の「アウトドアクッキング」では野外炊事メニュー「BBQ」と、スウェーデントーチを用いたのマシュマロスモアを体験した。滝沢里山研究会によるスウェーデントーチの歴史や使い方、森林に関する講話があった。

### 〔成果〕

①キャンプについての知識・技術を身に付け、継続的な体験への意欲を高めることができた。

参加者アンケートの「自然体験活動に生かせる知識や技術を学べましたか」という設問に対して全ての回答者から「学べた」「少し学べた」との回答を得ることができた。また、「今後自然体験活動をしたいと思いましたが」という項目に対して、全ての回答者から「したい」「時々したい」との回答を得ることができた。

②4つの協力団体と連携を図り事業を運営することができた。

専門的な知識を持つ講師を招き実施したことで、プログラムが充実したものとなった。また、事前の打ち合わせを重ね、事業の趣旨を理解してもらうことで、目標に向けて相互的な関係を築くことができた。

③新たな事業形態での実施

事業を2部制とし、前半では5つのプログラムを用意し、各家族で自由に体験してもらう時間を設けた。後半は簡略化した野外炊事を実施した。前半は活動選択の自由度の高さから、それぞれの楽しみ方を見出して子どもに興味関心に応じいきいきと活動している姿が見られた。野外炊事ではBBQのほか、滝沢里山研究会によるスウェーデントーチや森林についての講話もあり、楽しく学べる機会となった。

### 〔課題〕

①雨天時プログラムについて

今回は天候に恵まれたが、雨天だった場合、アウトドアの魅力が十分に伝わる内容とは言い難い。雨天時でもアウトドアの魅力が伝わるプログラムを次年度以降考えていく必要がある。

②野外炊事について

少人数で参加している家族にとって野外炊事の準備や片付け等が負担にならないよう、一班につき大人が複数いるように一部、2家族合同での班編成を行ったが、初対面での活動に不安を覚え別々での活動を希望する参加者もいた。食材は各家族の人数で分けて配付する、合同班について予め承諾を取るなどの対応が必要であった。

## 状況写真



ビギナーズキャンパースクール  
ロープワークの様子



スラックライン体験



曲り家にて  
焚き火キャンドルづくり



キャンプギア体験会  
ソロテント設営の様子



テンパーク探検隊！



アウトドアクッキング  
スウェーデントーチ

家族で日帰りアウトドア・キャンプ体験を楽しもう！



# テンパーク アウトドアクラブ

～春編～

開催日

5.11 (土)

5.12 (日)

両日とも日帰り

## イベントの概要

初めてのキャンプにチャレンジしてみたい親子を対象とした、初心者向けのアウトドア・キャンプ体験のイベントです。

興味はあるけど始める機会がない...そんな方の応募をお待ちしています！

## 1. キャンパー体験会

- ① ビギナーズキャンパースクール
- ② スラックライン体験
- ③ 創作活動
- ④ キャンプギア体験会
- ⑤ テンパーク探検隊！

## 2. アウトドアクッキング

### BBQとマシュマロスモア体験



1日の最後にはBBQと丸太でできた「スウェーデントーチ」を使ってマシュマロスモアを楽しめます。

イベントのより詳細な情報は右のURL  
または二次元コードから確認できます→



独立行政法人 国立青少年教育振興機構  
国立岩手山青少年交流の家

企画・運営：体験の風をおこそう運動実行委員会

イベント詳細



<https://x.gd/RfBgQ>



# 事業実施報告

開催日	令和7年1月18日（土）、19日（日）		
事業名	テンパーク・アウトドアクラブ～冬編～		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家	参加人数	18日 29家族98名 19日 25家族84名
対象	小学校1～4年生の子どもを含む家族		
関係機関名	岩手県シェアリングネイチャー協会、滝沢里山研究会		

## 状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

### 〔事業の内容〕

本事業は、親子で一日中思いっきり遊ぶを通して岩手の大自然を満喫し、冬遊びの楽しさを体感する機会を提供し、冬ならではの良さを感じてもらうことで、事業後も冬の体験活動を行う機会の一助にすることを目的として、同内容で2日間開催した。

事業では7つのブースを展開した。①スノーチューブで大滑走：スノーチューブやそりを使ってテンパークのゲレンデを滑った。②スノーカートで大滑走：スノーモービルに取り付けられたスノーチューブに乗り、雪原を疾走した。③わくわく雪原探検隊：スノーシューをはいて森や雪原を滝沢里山研究会と探検した。④ウィンターネイチャーゲーム：岩手県シェアリングネイチャー協会と冬の自然を観察しながら家族でゲームをした。⑤雪玉ストラックアウト：雪玉を使ってストラックアウトをした。⑥雪上マシュマロスモア：雪上で焼き火台を使い、マシュマロスモアをした。⑦冬の曲り家体験：伝統家屋南部曲り家で薪割り・いろいろ体験をし、薪ストーブやホットドリンクで温まった。

### 〔成果〕

①冬ならではの良さを感じてもらい、継続的な体験への意欲を高めることができた。

参加者アンケートの「冬ならではの外遊び・自然体験活動の良さを体感できましたか。」という設問に対して98%の回答者から「とても思う」「そう思う」との回答を得ることができた。また、「今後、継続的に家の周辺等で冬の外遊びや自然体験活動をしたいと思いませんか。」という設問に対して、98%の回答者から「とても思う」「そう思う」との回答を得ることができた。

②2つの協力団体と連携を図り事業を運営することができた。

専門的な知識を持つ講師を招き実施したことで、プログラムが充実したものとなった。また、事前の打ち合わせを重ね、事業の趣旨を理解してもらうことで、目標に向けて連携を強めることができた。

③多様なブースを設置しての実施

ブース数を多く設定することで、参加者が限られた時間内で多くの体験をすることができた。参加者数も多く、冬の短い日照時間の中であつたが、参加者からは「各所混雑もなく楽しむことが出来た」、「体験出来るアクティビティが豊富」、「時間いっぱいまで飽きることなく楽しめた」との評価を得た。

### 〔課題〕

①荒天時プログラムについて

今回は天候に恵まれたが、荒天だった場合、冬遊びの魅力が十分に伝わる内容とは言い難い。荒天時でも冬遊びの魅力が伝わるプログラムを次年度以降考えていく必要がある。

②落選者について

募集家族数に対して3倍以上の応募があり、落選家族数が多くなった。来年度以降は受け入れ家族数を増やすなどして希望した人ができるだけ多く参加できるような内容に工夫する。

## 状況写真



スノーチューブで大滑走の様子



わくわく雪原探検隊の様子



雪玉ストラックアウトの様子



スノーカートで大滑走の様子



ウィンターネイチャーゲームの様子



冬の曲り家体験会の様子

家族で冬遊びやアウトドアを楽しもう！



# テンパーク アウトドアクラブ

～冬編～

参加費 500円！  
(未就学児200円)

開催日

2025

1.18 (土)

1.19 (日)

両日とも日帰り



## イベントの概要

家族で冬の自然を楽しみながら、雪を使った冬ならではの遊びを楽しみましょう！  
マシュマロスモアとホットドリンクでほっと一息、温まることもできますよ！

主催・場所／国立岩手山青少年交流の家  
(企画・運営：みちのく「体験の風をおこそう」運動実行委員会)

## 冬のテンパークであそぼう！

- ① スノーチューブで大滑走
- ② スノーカートで大疾走
- ③ わくわく雪原探検隊
- ④ ウィンターネイチャーゲーム
- ⑤ 雪玉ストラックアウト
- ⑥ 雪上マシュマロスモア
- ⑦ 冬の曲り家体験会

イベントのより詳細な情報は  
以下のURLまたは二次元コードから確認できます



<https://x.gd/DMoot>

お申し込みは裏面の二次元コードから！

## そりすべり特別体験のご案内

～テンパークのそりすべり場を開放します～

2025

2.2(日)・2.16(日)

両日10:00～12:00

※テンパークアウトドアクラブ～冬編～とは別のご案内です

そりあそび無料体験できます！※スノーカートは1人500円

当日受付のため、事前のお申し込みは必要ありません。  
帽子、手袋などの防寒具は各自でご準備ください。



独立行政法人 国立青少年教育振興機構  
国立岩手山青少年交流の家



# 事業実施報告

開催日	令和6年12月8日(日)		
事業名	おいでよ!岩手山曲り家ワークショップ		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家	参加人数	午前:9家族27名(大人12名、子ども15名) 午後:8家族20名(大人9名、子ども11名)
対象	小学校3年生~6年生の児童を含む親子		
講師	こども広場マグノリア代表 絵本専門士 牧野 幹氏 Earth Building Iwate 磯和 亮治氏		
協力	東北工業大学工学部環境応用化学科 山田研究室 北上川サポート協会 工房寿限無		

## 状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

### 〔事業の内容〕

午前、午後の2回実施。総勢47名参加。キャンセルは5組10名。

- ・お宝ラリー(展示物発見ゲーム)
- ・自然素材の創作品や民具、農具の展示、いろり・火鉢・かまど・薪ストーブの活用
- ・お話し(絵本専門士による郷土の昔話や茅葺きの家を題材にした絵本の読み聞かせ)
- ・茅を取りまく環境の話、茅葺き職人の工具を使ったデモンストレーション、茅ブリケットを焚く体験
- ・茅の穂先を使った「茅あかり」の創作活動
- ・かまどで炊いた混ぜご飯とせんべい汁の実食

### 〔成果〕

- ・事業全体に関する満足度は肯定的回答が100%だった。「自然の息吹を感じる」ために、自然物の創作品や玩具、郷土の民具や農具を展示した。「伝統文化についての理解を深める」ために、絵本専門士による曲り家での読み聞かせ、いろりや火鉢に炭をおこし、昔の生活に思いをはせる体験を行った。続いて「持続可能な社会の在り方について学ぶ機会をもつ」ために茅を取りまく環境のワークショップを実施し、茅がどのような場所で成長し、どのような利点があるかを茅職人から話を聞き、さらに茅の穂先を利用した「茅あかり」を家族で作製、茅を身近に感じられるような工夫をした。
- ・子どもたちからは、「昔の人になった気持ちで本のお話を聞きました。」「お父さんと一緒に茅あかりを作るのが楽しかった。」等の感想を聞くことができた。保護者からは「昔の生活に触れることで今に活かせることがあるか、考えるきっかけになりました。」などの感想があり、持続可能な社会の在り方を学ぶきっかけになった。

### 〔課題〕

- ・伝統文化についての理解を深めたり、先人の生活に思いをはせることはできたが、子どもたちには「持続可能な社会の在り方」の理解は難しい様子だった。SDGsの目標と紐づけ、曲り家、茅、薪、木の実、自然にある様々なものを分けあい、循環していく仕組みがこの地方にはあり、それが現代でも見直されていることを、子どもたちに示せたら良かった。
- ・12月8日の天候は雪で、曲り家内で石油ストーブや火鉢や薪ストーブをつけたが、気温が上がらず終始寒い状態だった。いろりに人が集まるという利点はあったが、活動を行うにはもっと早い時期が好ましい。もしくは、曲り家に防風対策を施す必要がある。



絵本専門士による昔話の読み聞かせ



自然素材「イタドリ笛」



1年で3mの長さに成長する茅



茅の先端を使用した「茅あかり」作り



少ない薪で効率よく炊けるかまど



完成した茅あかりをみながら  
せんべい汁の実食

おいでよ! (^^)!

# 岩手山曲り家 ワークショップ

現代に受け継ぐ  
私たちの「ルーツ」  
私たちの「これから」を学ぶ

**対象**  
小3～6の親子

**12/8 日**

会場・岩手山青少年交流の家

- ① 午前の部：9:00～13:00
- ② 午後の部：13:00～17:00



この秋、曲り家の修復工事が完了しました。  
お披露目を兼ねてワークショップを開催します。  
自然の息吹を体で感じ、先人の生活に思いをはせる。  
そんな、過去ー現在ー未来を体感するひとときにして  
いただければうれしいです。  
おいでよ! (^^)! 岩手山曲り家へ。



講師

牧野 幹 氏  
こども広場マグノリア代表

磯和 亮治 氏  
Earth Building Iwate

## ワークショップ

- ・お話し会
- ・茅を取り巻く環境の話
- ・創作活動「茅あかり」
- ・軽食（せんべい汁）



参加費：1人 1000円  
創作費：茅あかり1家族800円



主催 国立岩手山青少年交流の家

〒020-0601 岩手県滝沢市後292

TEL.019-688-4221 <https://iwate.niye.go.jp>

企画・運営：みちのく「体験の風をおこそう」運動実行委員会

申し込みフォーム



応募締切は11/10正午まで

# 事業実施報告

開催日	令和6年9月14日（土）～15日（日）		
事業名	テンパーク・エコキャンプ		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家、姫神ウィンドパーク、松川温水路、松川地熱発電所、イーハトーブ火山局	参加人数	8家族21名（大人11、子ども10）
対象	小学校3・4年生の児童を含む親子		
関係機関名	コスモエコパワー株式会社、株式会社地熱染色研究所、松川土地改良区		

## 状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

### 〔事業の内容〕

1泊2日の日程で、1日目は姫神ウィンドパーク（風力発電所）見学、科学実験教室（風力発電について、静電気について）、ファミリータイム～夜の森～（焚火、花炭づくり、ナイトハイク）、2日目は松川地熱発電所・地熱館見学、松川第一水力発電所見学、地熱蒸気染色体験、講話「地熱のまち 八幡平の恵み」を実施した。配慮や工夫をしたことは、一般に公開されていない施設内の場所や普段なかなか訪れない場所、認知度が低い施設などを見学場所に取り入れた。また、見学や座学だけではなく、科学実験教室を取り入れ、見学内容と科学とのつながりを体験的に理解できるようにした。さらに、自然体験活動と科学や持続可能な生活に関連した活動を実施した。

### 〔成果〕

- ・事業全体に関する満足度・・・大人、子どもともに肯定的回答が100%だった。
- ・再生可能エネルギーや地球環境を考えていこう（更に考えていこう）と思ったか等に関して・・・  
（大人）参加前よりも「高まった」、「やや高まった」という肯定的回答が91%だった。また、「自分なりにできることを実践していこうという気持ち」の高まりに関しては、肯定的回答が100%だった。
- （子ども）「岩手県の自然について、さらに興味をもてるようになった」という問いに対し、肯定的回答が100%だった。また、「地球や身の回りの自然を大切にしたり守ったりするために、自分なりにできることに取り組んでみようと思うようになりましたか。」という問いについては、肯定的回答が90%だった。
- ・参加者の声として、「いろいろなアプローチで発電について勉強したり体験したりすることができて、とても充実した時間が過ごせました。またこのような機会があれば、参加したい。」、「子どもだけでなく大人も勉強になり体験の内容も今後の人生に役立つ。」、「気軽にエコについて発電について考えられるようになった。」、「家族だけではできない体験をすることができた。」など、肯定的回答が多かった。

### 〔課題〕

- ・活動のほとんどが屋外での実施のため、天候の良し悪しが影響した。姫神ウィンドパークの見学では風車が雲に隠れ、全体の姿を見ることができず、参加者の皆さんが残念がっていた。
- ・2日目は参加者各自での移動だったため、見学場所までの道のりが分かりづらい場合、道迷いが生じてしまった。
- ・再生可能エネルギー発電所の見学では、工夫して説明していただいたが、「子どもにとっては説明が難しい」という意見がアンケートの回答に見られ、対象学年の児童にとっては難しい面があった。

## 状況写真



「姫神ウィンドパーク(風力発電)見学」



「科学実験教室 風力発電を体感」



「ファミリータイム～夜の森～焚火体験」



「ファミリータイム～夜の森～ナイトハイク」



「松川地熱発電所 地熱館見学」



「地熱蒸気染色体験」



姫神ウインドパーク



松川地熱発電所



岩手の自然 × 科学 = SDGs

# エコキャンプ

2024年9月14日(土)~9月15日(日)

申込締切:2024年8月31日(土)

~未来の地球を考えるエコキャンプ~

- 再生可能エネルギー発電所を見学しよう
- 科学実験教室で科学にふれよう
- 八幡平地熱蒸気染めを体験しよう

くわしくは裏面をお読みください。



科学実験教室



松川温水路

場所/国立岩手山青少年交流の家、姫神ウインドパーク 他  
 主催/独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立岩手山青少年交流の家  
 (企画・運営/みちのく「体験の風をおこそう」運動実行委員会)



独立行政法人 国立青少年教育振興機構

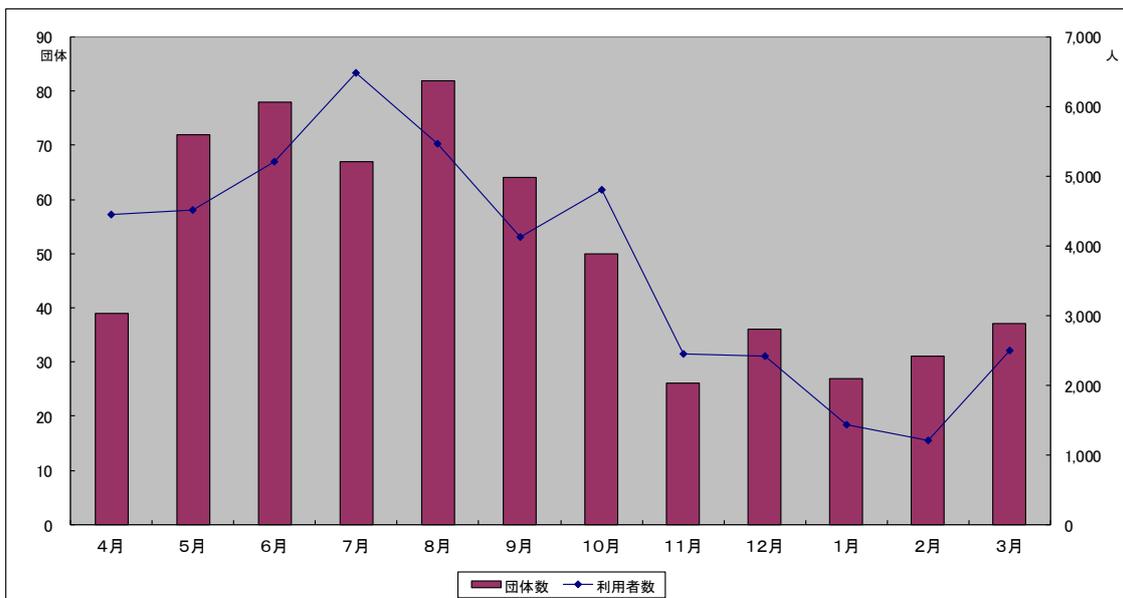
国立岩手山青少年交流の家

【 令和6年度 記事掲載状況一覧 】

No	掲載日	媒体名	掲載面	記事見出し等
1	令和6年6月27日	岩手日報	15面	[すすめ！SDGs] 滝沢 国立岩手山青少年交流の家 水節約し「防災炊飯」
2	令和6年8月24日	岩手日報	21面	テンパーク・エコキャンプ 参加者募集
3	令和6年9月16日	文教ニュース	28P	岩手山青少年交流の家 地域探究プログラム講座実施
4	令和6年9月21日	岩手日報	29面	ちいぶろ！岩手高校アイデアソンパネル展示 投票参加者募集
5	令和6年9月22日	岩手日報	17面	ちいぶろ！岩手高校アイデアソンパネル展示 投票参加者募集
6	令和6年10月26日	岩手県立図書館	ウェブ	特別展示「岩手高等学校の地域探究プログラム 障がい者スポーツ応援アイデアパネル展」
7	令和6年10月27日	岩手県立図書館	ウェブ	展示「岩手高等学校の地域探究プログラム 読書推進ポスター展」
8	令和6年10月28日	日本教育新聞	13面	体験から学ぼう 教員編 141 不登校生の登頂に苦労忘れる (根本 清一 企画指導専門職(当時) 投稿記事)
9	令和6年10月29日	岩手日報	31面	地域探究プログラム パラスポーツ応援アイデアパネル展 開催案内
10	令和6年10月30日	岩手中・高等学校	ウェブ	プログラミングコース 地域探究プログラム「オリエンテーション合宿」～岩手高校プログラミングコース「アイデアソン」での取組～
11	令和6年11月2日	岩手日報	23面	岩手山曲り家ワークショップ 参加募集 (「おいでよ！岩手山曲り家ワークショップ」の参加募集)
12	令和6年12月12日	岩手日報	14面	伝統文化 親子で学ぶ 岩手山青少年交流の家 かや使い創作活動 (主催教育事業「おいでよ！岩手山曲り家ワークショップ」の取材)
13	令和6年12月17日	日報ジュニアウィークリー	12面	かや文化 触れて知る (主催教育事業「おいでよ！岩手山曲り家ワークショップ」の取材)
14	令和6年12月25日	東北工業大学	ウェブ	『「地域探究プログラム」(ちいぶろ！)地域探究アワード東北ブロックステージ』が開催されます
15	令和7年1月30日	岩手中・高等学校	ウェブ	「地域探究プログラム 東北ブロック地方ステージ」

# 施設利用実績

## 月別利用状況



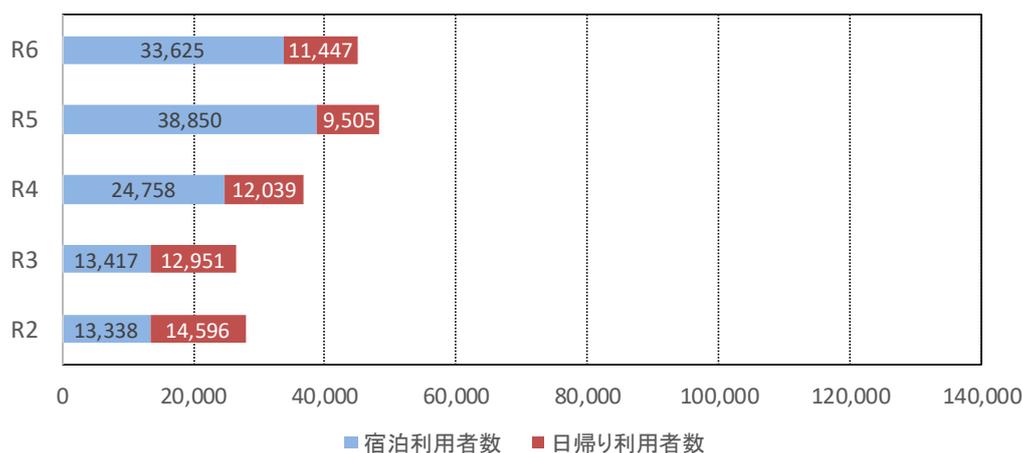
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	39	72	78	67	82	64	50	26	36	27	31	37	609
利用者数	4,452	4,522	5,210	6,490	5,468	4,127	4,804	2,451	2,409	1,432	1,204	2,503	45,072

## 施設の利用実績 (過去5年間の比較)

単位: 人

年度	総利用者数			研修支援事業			主催事業(教育事業等)			宿泊室稼働率 %
	合計	宿泊	日帰り	小計	宿泊	日帰り	小計	宿泊	日帰り	
R6	45,072	33,625	11,447	44,113	33,195	10,918	959	430	529	27.6
R5	48,355	38,850	9,505	46,472	37,562	8,910	1,890	1,295	595	31.9
R4	36,797	24,758	12,039	32,620	23,616	9,004	4,177	1,142	3,035	50.5
R3	26,368	13,417	12,951	20,661	12,248	8,413	5,707	1,169	4,538	20.9
R2	27,934	13,338	14,596	22,281	12,053	10,228	5,653	1,285	4,368	27.5

## 総利用者数および 宿泊・日帰り利用者数の推移 (過去5年間の比較)



# 本施設の動画配信について

当施設の紹介、体験活動の紹介を動画にて配信しています。



## テンパーク施設紹介ちゃんねる【国立岩手山青少年交流の家公式】

野外炊事の方法、ベッドメイキングのしかた、入浴の方法、レストランの利用方法、キャンプファイヤー、創作活動の紹介などを動画で紹介しているチャンネルです。



### 動画

<p>野外炊事の方法 ~ご飯の炊き方編~</p> <p>0:34</p> <p>野外炊事の方法~ご飯の炊き方~ 1106 回視聴・1年前</p>	<p>野外炊事の方法 ~準備と片付け~</p> <p>2:13</p> <p>【R7年度更新版は概要欄から】野外炊事の方法~準備... 735 回視聴・1年前</p>	<p>レストランの利用方法</p> <p>1:51</p> <p>レストランの利用方法 1429 回視聴・1年前</p>	<p>浴室の使い方</p> <p>1:06</p> <p>浴室の使い方 1190 回視聴・1年前</p>	<p>布団の敷き方・たたみ方 (D棟:和室)</p> <p>1:24</p> <p>布団の敷き方・畳み方 (和室・D棟) 1399 回視聴・1年前</p>	<p>ベッドメイキング (A・B・C棟:洋室)</p> <p>1:35</p> <p>ベッドメイキング (洋室・A、B、C棟) 1530 回視聴・1年前</p>
--	---	--	--	---	--



## テンちゃんねる【国立岩手山青少年交流の家 テンパーク 公式】

体験って、たのしい！  
「体験の風をおこそう」運動を推進するため、さまざまな体験活動を紹介しているチャンネルです。



### 動画

<p>[icc岩手放送CM] テンパーク先行予約&amp;子どもゆめ基金</p> <p>0:16</p> <p>133 回視聴・8か月前</p>	<p>【いちぶろ1】地味探検プログラム「オリエンテーション」</p> <p>11:39</p> <p>316 回視聴・9か月前</p>	<p>【岩手高校アイデアソン】ちいぶろ1 スライドムービー</p> <p>9:05</p> <p>175 回視聴・10か月前</p>	<p>【サマザレ】テンパーク・サマーチャレンジ~若手山~</p> <p>6:34</p> <p>134 回視聴・11か月前</p>	<p>【50th Anniversary】HISTORY OF TENPARK 編</p> <p>6:33</p> <p>430 回視聴・1年前</p>	<p>【地味探検プログラム】岩手高校プログラミングコース</p> <p>9:31</p> <p>458 回視聴・1年前</p>
--	---	--	---	--	---

### 体験活動動画 ▶ オブテ再生

<p>スノーシューはいて雪山登ってみよう</p> <p>5:19</p> <p>テンちゃんねる【国立岩手山青...】 807 回視聴・4年前</p>	<p>紹介!テンパークボランティア</p> <p>3:47</p> <p>テンちゃんねる【国立岩手山青...】 446 回視聴・4年前</p>	<p>鞍掛山登山! テンパークのすぐそばで</p> <p>4:55</p> <p>テンちゃんねる【国立岩手山青...】 1532 回視聴・4年前</p>	<p>テンパーク3分クッキング! カートドッグ</p> <p>2:46</p> <p>テンちゃんねる【国立岩手山青...】 308 回視聴・4年前</p>	<p>野外炊事してみた~豪華カレー~を食べたのは誰?~</p> <p>4:58</p> <p>テンちゃんねる【国立岩手山青...】 596 回視聴・4年前</p>	<p>空中で【前編】キャンプしてみよう</p> <p>3:27</p> <p>テンちゃんねる【国立岩手山青...】 735 回視聴・4年前</p>
--	---	--	---	---	---





独立行政法人 国立青少年教育振興機構

## 国立岩手山青少年交流の家

〒020-0601 岩手県滝沢市後292

代表 TEL 019-688-4221 FAX 019-688-5047

<https://iwate.niye.go.jp> E-mail : [iwate-suishin@niye.go.jp](mailto:iwate-suishin@niye.go.jp)